

こちら校長室

こころ
心

令和5年度



令和6年 2月 26日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

あなたがいてくれてありがとう～6年生での道徳授業～

卒業まであと20日をきった6年生の各クラスで「ありがとう」をテーマに授業を進めました。はじめにどんなときに「ありがとう」と言うのかを聞きました。「何かをもらったとき」、「何かをしてもらったとき」など「人」に関係する意見がほとんどでした。そこで用意した「ありがとう」の話を6つしました。花・太陽・枕・鉛筆・水・あなたへの感謝についてです。それぞれの詩を読んだ後に最初に聞いた「ありがとう」と少し違うことを伝え、考えました。子どもたちから出た意見は「身近なものへのありがとう」「世の中すべてのものにありがとう」「当たり前のもにありがとう」でした。さすがは6年生！！まさしくそういうことです。このように考えると身近に結構「ありがとう」と言われるものがたくさんありますね。そのようなことを確認して、子どもたちにも改めて「ありがとう」を探し、詩をかくように言いました。どのクラスの子どもたちも自分の中にあるものから一生懸命考えてありがとうの詩をつくっていました。（[ホームページやスクリーン](#)に6年生がつくったありがとうの詩を一部掲載しています。是非ご覧ください。笑顔になったり、あたたかい気持ちになったりします。）つくった詩をそれぞれ紹介し合いました。どのクラスの子たちも素敵な詩をつくっていて「体育館で学年でやれば良かったかな」と思う程でした。

「生き物、音楽、あふれる思い、母、親、推し、サッカーの生みの親、本、創造主、太陽、言葉、犬、諭吉、花、ピアノ、鉄、空気、ランドセル、春夏秋冬、電気、風、消しゴム、サッカーボール、修学院小学校、鉛筆、昔の人、物、僕の心臓、メガネ、ゲーム、空、カレーライス、ゲーム、絆、トイレ、水、友達、植物、地球、家、命…」全クラスを回ると発表だけでこんな感じで、でてきたので聞いていて毎回発見があって楽しく過ごすことができました。

このような発表があった後に「ありがとうにはどんな力があるの？」と聞くと「言った人も言われた人も気持ち良くなる」「心を回復させる力がある」「笑顔にする力」「ありがとうが返ってくる」「またありがとうを探し始める力」などありがとうを伝えていくことでの効果を考えることができました。改めて言葉の力は素晴らしいと感じました。

最後にありがとうについてまとめました。各クラスの様子で若干話は変えたものの「ありがとう」が心にあるとありがとうを探すことができることを伝えました。そして感謝はもとも四字熟語で「感恩報謝」と呼ばれていたことをある2クラスには伝えました。卒業までの少ない時間ですが「ありがとう」をたくさん見つけてほしいと思います。卒業式はきっと「ありがとう」でいっぱいになるに違いありませんね。

今年度は何に感謝しますか？